

高浜市議会だより

びらおる

年末夜警の様子



第一分団詰所前



第二分団詰所前



第三分団詰所前



第四分団詰所前

高浜市消防団は、市内にお住まいの皆さまが、安心して年末年始を迎えることができるように、年末夜警を実施しています。（写真はR4.12月のものです）

いつも地域の安全安心を守ってくださりありがとうございます。

contents
目次

- P2～P9……………7月臨時会・9月定例会：議案の内容・議案審議、議員の態度（採決結果）
- P9～P15 ……市政のここが聞きたい（一般質問）
- P16 ……議会中継のご案内、12月定例会のご案内（日程）、
決算特別委員会現地調査、編集後記



議案等の件名・主要内容 及び 質疑・賛成、反対意見や各議員の態度				会派名	市政クラブ	公明党	共産党	高志クラブ	新国会	高浜市民の会	清風会	凛々会							
種類番号	件名	議案等の主要内容	主な質疑及び賛成・反対意見等 議案は質疑を優先して掲載 ※委員会での議論意見がないものは本会議の賛成・反対討論	議員氏名	橋本友樹	荒川義孝	神谷直子	杉浦康憲	北川広人	鈴木勝彦	今原ゆかり	野々山啓	柴口征寛	岡田公作	黒川美克	倉田利奈	長谷川昌	福岡里香	
7月臨時会 第4回（会期：7月30日・1日間） 議案等				結果	○=賛成 ●=反対														
議案第48号	令和6年度高浜市一般会計補正予算（第5回）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ139万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ186億6,565万7,000円とする。	問 チョイソコたかほま、乗車運賃が現金または共通チケットのみの取扱いであるが、キャッシュレス、ICカードへの対応は。答 市民の利便性を高める取組の一つとして、キャッシュレス決済の必要性についても、運営事業者と今後検討を進めていきたい。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月定例会（会期：9月3日～10月3日・31日間） 議案等				結果	○=同意、承認、賛成、認定、採択 △=趣旨採択 ●=不同意、不承認、反対、不認定、不採択														
同意第4号	教育委員会委員の任命について	教育委員会委員磯貝政博氏が令和6年9月30日で任期満了となるので、新たに委員を任命するため。	問 継続して再任しなかった理由は。答 本人からの申し出により。	同意	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて	高浜市電子クーポン（だいかそくーボン）事業補助金交付に伴う一般会計補正予算（第6回）の承認。歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,800万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ186億8,365万7,000円とする。	反対 公平・平等な事業設計にならなかったどころか、予算がないにもかかわらずクーポンを発行し続け、1,800万円もの補正予算を専決処分したこと、そして専決処分はできない内容であることから承認できない。	承認	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	
議案第49号	高浜市住民投票条例の一部改正について	公職選挙法の一部改正に準じて、所要の規定の整備を行うなど。	問 第22条のただし書中の「不当に干渉され、又は市民の平穏な生活環境が侵害されるもの」について、具体的にどういったことが当てはまるのか。答 例えば、早朝、深夜など時間を問わず、またどのような時間であっても、大音量で呼びかけを行うことによって、市民の平穏な生活環境を侵害するという事を行ってはならないという意味。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	高浜市税条例の一部改正について	特定非営利活動法人のりのりフットワークの所在地の変更に伴い、所要の規定の整備を行うため。	問 所在地の変更が法務局に提出されたのはいつか。答 登記年月日については令和6年6月5日であることの確認をとった。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	高浜市国民健康保険条例の一部改正について	国民健康保険法の一部改正により被保険者証が廃止されることに伴い、所要の規定の整備を行うため。	問 マイナ保険証になると、滞納等があった場合でも今後被保険者証の返還を求められることができなくなるが、滞納を続けている人への対応は今後どのようになるか。答 現在は短期保険証の発行が特別療養費の支給の2通りの方式があるが、マイナ保険証への移行後は、短期保険証の発行ができなくなるため、今後の対応については特別療養費の支給（医療機関に全て支払った後に精算する方式）しかできなくなる。ただし、生活困窮者に対しては、それぞれの事情に応じて対応していく必要がある。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	市道路線の認定について	開発行為等により設置された道路の市への帰属等に伴い、市道路線として認定するため。	問 28号、29号の隅切りがないことの説明は。都市計画法第32条の協議の内容は。答 パチとか取付けの道路の中間点に道路があったほうがいいのかの意見は開発業者に申し上げるが、こちらにインセンティブはない。問 一体の開発なのか、また開発面積は。答 開発許可が下りている。その帰属を受けて認定している。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第53号	令和5年度高浜市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	令和5年度高浜市水道事業会計未処分利益剰余金1億9,471万4,590円のうち5,266万4,994円を減債積立金に積み立て、3,800万円を建設改良積立金に積み立て、1億404万9,596円を資本金へ組み入れる。	問 水道料金の引下げについての考えは。答 水道水を安心・安全に水道利用者へ供給するための老朽化対策をやっていくことが大前提で、利益が出たから軽減することは考えていない。逆に水道料金を値上げせざるを得ない状況になることも検討事項としてあるので、料金を下げることは現時点では考えていない。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	高浜市老人憩の家設置及び管理に関する条例の一部改正について	高浜南部老人憩の家を廃止するため。	問 老人憩の家の活動をされていた方が活動停止に至るまでの経緯と現況は。答 地元のいきいきクラブが令和5年3月にいきいきクラブ連合会を退会して、老人憩の家を利用しない申し出があったので閉鎖をした。元会員は閉鎖後、「あっぱ」を利用している。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	工事請負契約の変更について	高取小学校給食施設改築工事について、既存給食室解体工事の取止めによる減額に伴い、工事請負契約を変更するため。変更後契約金額：5億5,836万円（税込み）【変更減：1,144万円】変更前契約金額：5億6,980万円（税込み）	問 契約金額減額の適正な積算と内訳は。また、高取小学校と高取児童クラブの今後の管理区分は。答 減額変更については、当初の設計に基づいて適正に変更額を積算。内訳は、建築工事は約726万円、電気工事は約22万円、付帯工事は約55万円、共通費・諸経費は約341万円。管理区分については、校舎と旧給食棟は構造上別々の建物のため、内壁を設けることで、それぞれ区分して管理する。問 旧給食棟の建築年数は。また、解体後に予定していた駐車場はどこに造るのか。答 令和6年3月の時点で建築後49年が経過。駐車場については、高取小学校の学校敷地の東側・西側を有効活用し、新たに設ける予定はない。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

議案等の件名・主要内容 及び 質疑・賛成、反対意見や各議員の態度				会派名	市政クラブ	公明党	共産党	高志クラブ	新国会	高浜市民の会	清風会	凛々会							
種類番号	件名	議案等の主要内容	主な質疑及び賛成・反対意見等 議案は質疑を優先して掲載 ※委員会で討論意見がないものは本会議の賛成・反対討論	議員氏名	橋本友樹	荒川義孝	神谷直子	杉浦康憲	北川広人	鈴木勝彦	今原ゆかり	野々山啓	柴口征寛	岡田公作	黒川美克	倉田利奈	長谷川昌	福岡里香	
9月定例会（会期：9月3日～10月3日・31日間） 議案等				結果	○=同意、承認、賛成、認定、採択 ●=不同意、不承認、反対、不認定、不採択														
議案第56号	財産の取得について（追認）	令和2年度の小学校教師用教科書及び指導書の買入れについて、高浜市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議決（追認）を経るため。契約金額：2,393万3,279円（税込み）	議案第56号から第58号まで一括質疑	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	財産の取得について（追認）	令和6年度の小学校教師用教科書及び指導書の買入れについて、高浜市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議決（追認）を経るため。契約金額：2,533万7,504円（税込み）	問 全て随意契約になっているが、何号随契か。随契できる理由は。 答 地方自治法施行令第167条の2第1項第2号により随契している。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	財産の取得について（追認）	令和6年度の小中学校教師用教科書及び指導書の買入れについて、高浜市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議決（追認）を経るため。契約金額：2,062万7,483円（税込み）		可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	令和6年度高浜市一般会計補正予算（第7回）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8,395万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ187億6,760万9,000円とする。 【主要新規事業】放課後児童健全育成事業（高取北児童クラブ改修工事費等）	問 同じ小学校の中で、児童クラブが北と南で運営されていくということだが、一緒にするといった協議はなかったか。また、この2つで児童クラブを運営していくという理由は。 答 高取小学校区の児童クラブの利用人数として、各児童クラブ40名程度の人数があり、人数に応じたクラブ数を配置している。1つは直営の児童クラブ、もう1つは公設民営の児童クラブとなっており、現在のところ、委託側の児童クラブにおいては継続する形での意向があるので、これらを一緒にする予定はない。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	令和6年度高浜市一般会計補正予算（第8回）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億9,771万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ189億6,532万4,000円とする。 【主要新規事業】庁舎管理事業（防犯カメラ設置工事費）、老人憩の家等管理運営事業（高浜南部老人憩の家解体工事費）、元気高齢者応援事業（全世代学習館解体工事費）	問 高浜南部老人憩の家の解体に伴い、電話ボックスは撤去されるのか。 答 業者が壊すのに邪魔になるから撤去する。 問 全世代学習館解体工事費、180平米で3,682万8,000円について、建物の構造、いつ改修された建物か、改修費や補助金は。 答 昭和38年建築のコンクリートブロック造、平成15年に全面的な改修がされ、費用は4,231万5,000円で補助金は3,846万8,000円。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	令和6年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2回）	歳入基金繰入金現計予算額1億5,352万4,000円の内7,522万6,000円を歳入繰越金（補正後の現計予算額9,422万6,000円）へ繰り入れる。 歳入歳出予算額の総額に変更なし。	質疑なし。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	令和6年度高浜市土地取得費特別会計補正予算（第1回）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,482万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億218万8,000円とする。	質疑なし。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	令和6年度高浜市公共駐車場事業特別会計補正予算（第1回）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ61万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3,331万1,000円とする。	質疑なし。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	令和6年度高浜市介護保険特別会計補正予算（第1回）	保険事業勘定における歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7,246万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ31億1,924万1,000円とする。	質疑なし。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	令和6年度高浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ215万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ7億842万7,000円とする。	質疑なし。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	令和6年度高浜市一般会計補正予算（第9回）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ67万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ189億6,599万5,000円とする。	問 全国的な選挙になるため、投開票機器が取り合いになると思うが、早く押さえないといけないため、今回の補正予算が上げられたという理解でよいか。 答 投開票機器は、2社が独占的な業者になっている。その業者を早くから入れておかないと間に合わないという状況の中で、本市は10月2日に点検をするという話になっている。点検をしないという選択肢もあるが、それにより不具合発生時に市民に迷惑をかけるなどのリスクが大きいので、投開票機器も含め、今回上程した。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	令和6年度高浜市一般会計補正予算（第10回）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,079万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ189億8,679万3,000円とする。	問 価格高騰重点支援給付金支給事業について、当初見込み700世帯から200世帯増え900世帯になった理由は。 答 増加分は外国籍世帯の増加。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	令和5年度高浜市一般会計歳入歳出決算認定について	歳入歳出予算現額 211億5,737万2,000円に対し、 歳入決算額 190億6,205万745円（90.1%） 歳出決算額 186億6,711万1,401円（88.2%）	問 歳入：財産収入が予算対比77%となっているがその要因は。 答 青木町にある売り払いを予定していた普通財産が、調整がつかず、売り払いできなかったため。 問 歳出：民生費：放課後児童健全育成事業の委託料が増加しているがその理由は。 答 高浜児童クラブの支援数が1支援から2支援に増加したため。 問 歳出：商工費：中小企業ステップ補助金について申請件数が33件あるが、どんな業種が多かったのか。 答 理容業、学習塾、業業、支援業が多かった。 問 歳出：土木費：4市営住宅の入居率は。 答 81.4%。 問 歳出：教育費：たかほま夢・未来塾事業の講座開催状況について、定員に対する参加率は。 答 大方の講座が定員を満たしている、あるいはオーバーしている。	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案等の件名・主要内容 及び 質疑・賛成、反対意見や各議員の態度				会派名	市政クラブ	公明党	共産党	高志クラブ	新国会	高浜市民の会	清風会	凛々会								
種類番号	件名	議案等の主要内容	主な質疑及び賛成・反対意見等 議案は質疑を優先して掲載 ※委員会で討論意見がないものは本会議の賛成・反対討論	議員氏名	橋本友樹	荒川義孝	神谷直子	杉浦康憲	北川広人	鈴木勝彦	今原ゆかり	野々山啓	柴口征寛	岡田公作	黒川美克	倉田利奈	長谷川昌	福岡里香		
9月定例会（会期：9月3日～10月3日・31日間） 議案等				結果	○=同意、承認、賛成、認定、採択 △=趣旨採択 ●=不同意、不承認、反対、不認定、不採択															
認定第2号	令和5年度高浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入歳出予算現額 36億9,767万7,000円に対し、 歳入決算額 36億3,348万2,254円（98.3%） 歳出決算額 35億3,925万5,781円（95.7%）	問 現在、就学前までの子供の国保税が軽減されているが、就学前までの対象年齢を拡大して国保税の軽減を図ることで、短期保険者証の発行を減少させることに繋がることもある。高い保険料を引き下げる工夫について、どのように検討したか。 答 国保における子育て世帯の負担軽減施策については、これまでも国の方針に従い、出産育児一時金の支給額の拡大や出産予定者の被保険者の産前産後の国保税を一部免除するなど行ってきた。国保税が支払えないなどの相談があった場合は、都度、納税相談により対応したい。	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	
認定第3号	令和5年度高浜市土地取得費特別会計歳入歳出決算認定について	歳入歳出予算現額 6,327万円に対し、 歳入決算額 6,327万4,942円（100.0%） 歳出決算額 844万4,376円（13.3%）	問 先行取得された公用または公共用の土地の目的は。 答 令和5年度に購入した土地は、土地開発基金で先行取得したものを買い戻したものだ。	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第4号	令和5年度高浜市公共駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入歳出予算現額 3,128万7,000円に対し、 歳入決算額 3,134万4,400円（100.2%） 歳出決算額 2,872万5,586円（91.8%）	問 公共駐車場事業特別会計決算の全体の総括、及び、基金残高は。また、将来の大規模改修の予定、及び、駐車場の照明器具取替についての費用対効果は。 答 総括は、令和5年度としては駐車場使用料収入が前年度と比較し、約120万円ほど減少し、基金の積立金が320万円ほどの積立で、計画的な修繕等々を進めることができたと考えている。令和8年度から大規模改修を予定。費用対効果の試算はしていないが、指定管理料更新の時期にそれも踏まえ更新をしたい。	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第5号	令和5年度高浜市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	歳入歳出予算現額 31億4,274万6,000円に対し、 歳入決算額 31億3,843万8,099円（99.9%） 歳出決算額 30億4,452万445円（96.9%）	問 要介護認定者の障害者控除対象者認定書を申請した人数は。 答 令和5年度の障害者控除の発行数は99件。	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	
認定第6号	令和5年度高浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	歳入歳出予算現額 6億1,192万7,000円に対し、 歳入決算額 6億911万5,582円（99.5%） 歳出決算額 6億112万963円（98.2%）	問 決算全体の総括は。また、保険料徴収事業取納率について、普通徴収現年度分及び滞納繰越分ともに収納率向上の理由は。また、還付未済額は、どのような場合に発生するのか。 答 後期高齢者医療制度は、愛知県の広域連合が主体となり、広域連合の方針に従い事務を進めている。被保険者の状況は、令和5年度末に5,265人で、前年度と比較し126人増加。保険料の収入額、収納率ともに前年度と比べ増加。収納率向上は、担当職員が滞納者に対し、電話での督促等により納付向上に努めた。還付未済は、死亡等により保険料が変更になり、保険料を多く納め過ぎた方への返還。	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	
認定第7号	令和5年度高浜市水道事業会計決算認定について	収益的収入及び支出： 収入予算額 9億2,085万3,000円に対し、 決算額 9億3,597万753円 支出予算額 9億852万9,000円に対し、 決算額 8億2,430万2,167円 資本的収入及び支出： 収入予算額 1億1,479万9,000円に対し、 決算額 8,367万2,070円 支出予算額 4億7,275万7,000円に対し、 決算額 3億1,562万7,576円	問 審査意見書の中で、年間総有収水量が令和5年、502万6,844立米、令和4年、505万1,753立米で2万4,909立米の減。有収率が令和5年、97.62%、令和4年、98.07%で0.45%の減。非常に良い有収率だが、それぞれ数字が減っている理由は。 答 有収水量については、節水意識の向上等で若干減となっている。有収率は、昨年度の有収率が過去最高値で、県内でも2番目の高さだった。今年度は下がっているが、過去2番目の高い数値を維持できた。	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
認定第8号	令和5年度高浜市下水道事業会計決算認定について	収益的収入及び支出： 収入予算額 11億3,221万2,000円に対し、 決算額 11億6,323万3,917円 支出予算額 9億9,254万1,000円に対し、 決算額 9億1,501万9,160円 資本的収入及び支出： 収入予算額 13億7,040万4,000円に対し、 決算額 11億5,572万2,140円 支出予算額 19億6,778万1,905円に対し、 決算額 16億7,931万8,157円	問 接続率が100%にならない理由は。 答 合併浄化槽がまだ使えることや、各家庭の経済的事情。	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	
報告第11号	令和5年度健全化判断比率及び公営企業資金不足比率について	健全化判断比率：実質赤字比率、連結実質赤字比率ともに赤字比率なし。 実質公債費比率2.9%、将来負担比率28.8%。 公営企業資金不足率：下水道事業会計、水道事業会計ともに資金不足比率なし。	報告事項のため、質疑なし。	報告事項	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
報告第12号	専決処分の報告について	市有自動車の物損事故に関し、損害賠償の額を3万1,900円と決定し、和解した。	報告事項のため、質疑なし。	報告事項	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
請願第1号	18歳高校生世代までの入院医療費無料化を求める請願	子どもの入院医療費の無償化を高校生世代まで拡大することを求める。	反対 県内では本市のみ入院医療費の無料化を実施しないことになるとあるが、それぞれの自治体で財政状況が異なるため反対。 賛成 市民からの要望に対して反対する理由が見当たらないため賛成。	不採択	●	●	●	-	●	●	●	●	○	●	○	○	○	●	●	
請願第2号	小中学校給食費の負担軽減を求める請願	①令和5年度の給食費値上げ相当額についての保護者負担軽減を求める。 ②給食費の公会計化を1日も早く実施することを求める。	反対 困っている家庭だけではなく、あまねくというのは、現在の本市の財政を考えると、とても出せないと思う。 賛成 令和5年4月からの給食費の値上げにより、1人の子どもを小学校、中学校9年間通わせた場合、値上げ分だけで、5万1,300円も保護者が負担することになり、家計への負担が非常に重い。物価高騰のもと、給食費の値上げ分は下げてほしいという要望は理解できる。	不採択	●	●	●	-	●	●	●	●	○	●	○	○	○	●	●	

議案等の件名・主要内容 及び 質疑・賛成、反対意見や各議員の態度				会派名	市政クラブ	公明党	共産党	高志クラブ	新国会	高浜市民の会	清風会	凛々会						
種類番号	件名	議案等の主要内容	主な質疑及び賛成・反対意見等 議案は質疑を優先して掲載 ※委員会で討論意見がないものは本会議の賛成・反対討論	議員氏名	橋本友樹	荒川義孝	神谷直子	杉浦康憲	北川広人	鈴木勝彦	今原ゆかり	野々山啓	柴口征寛	岡田公作	黒川美克	倉田利奈	長谷川広昌	福岡里香
9月定例会（会期：9月3日～10月3日・31日間） 議案等				結果	○=同意、承認、賛成、認定、採択 △=趣旨採択 ●=不同意、不承認、反対、不認定、不採択													
請願第3号	子どもの医療費無料化を18歳年度末まで拡大することを求める請願	子どもの医療費無料化を18歳年度末まで拡充することを求める。	反対 コンビニ受診のようなものが増えていく。医療に対する感謝や節度が失われていくということも言われている。ほかの世代への医療支援が手薄になる可能性もある。 賛成 昨年9月定例会よりさらに250筆を上回る署名数となっており、物価高騰で苦しんでいる子育て世帯の方々の強い願い、若い世代を応援したいという方々がいかに多いか分かる。近隣市ではすでに通院が無料となっている安城市に加え、碧南市、刈谷市でも今後無料になる状況において、本市でも拡大されるべき。	不採択	●	●	●	-	●	●	●	●	○	●	○	○	●	●
請願第4号	小・中学校給食費の無償化を求める請願	①小・中学校給食の質を維持し、給食費を無償にすることを求める。 ②無償化のための予算補助を国と愛知県に求めることを求める。	反対 給食費の無償化には、年間2億6,000万円余の財源が必要となり、本市の財政状況では継続的な財源確保は厳しい。市の財政負担が増え、将来の子供たちに借金を残すリスクが高まる。裕福な家庭まで無償にすることはない。国がやるならともかく、市の情勢を考えると負担である。 賛成 将来に借金を残すという話があったが、ほかのところでも将来に向けた借金を残すような財政運営がされていると思っている。	不採択	●	●	●	-	●	●	●	○	●	○	○	●	●	
陳情第8号	「新型コロナワクチン健康被害の実態と次世代型コロナmRNAワクチン(レプリコンワクチン)の危険性に関する周知」と「mRNAワクチン定期接種中止を求める意見書提出」を求める陳情	①健康被害の現状、②mRNAワクチンの特異性とリスク、③ワクチンの効果とリスクの再評価。これら3点の理由によりmRNAワクチン定期接種中止を求める意見書を国に提出することを求める。	反対 感覚的、感傷的なものの方で書かれているだけで、科学的な知見が示されていない。接種後に罹患しても未接種者に比べ、ウイルス排出量の期間が低減することが報告されている。ワクチン接種の効果と副反応だけでなく、コロナ罹患時のリスクを考えるべきである。	不採択	●	●	●	-	●	●	●	●	●	○	○	○	○	
陳情第9号	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情	①父母負担の公私格差を是正するための就学支援金を一層拡充すること。 ②国庫補助金とそれに伴う地方交付税交付金を充実し、私立高等学校以下の経常費補助の一層の拡充を図ること。 以上2点を内容とする意見書を国に提出することを求める。	趣旨採択 国からの支援も増え、多くの家庭で負担が軽減されていると考える。 趣旨採択 私立の高等学校は公立高校と並び、教育を担う大切な場所であるのは間違いない。私立学校は、それぞれ独自の特色があり、学校設備、教育環境にも差がある以上、公立と私立の費用負担にも差があるのは致し方ない。全ての子どもたちが経済状況に関わらず平等に教育を受けられる理想も分かる。 趣旨採択 公立の高等学校を維持、保守していくべきという観点から趣旨採択。	趣旨採択	△	△	△	-	△	△	△	△	○	△	△	△	△	△
陳情第10号	愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情	「教育の公平」を実現し、「私学選択の自由」を確保するために、年収720万円以上の私学の世帯についても、授業料助成と入学金助成を拡充して、学費の公私格差を着実に是正できる施策を実施することを内容とする意見書を愛知県に提出することを求める。	趣旨採択 愛知県からの支援も増え、制度の見直しも段階的に進んでいると考える。 趣旨採択 愛知県では私学助成もしており、趣旨は理解できる。	趣旨採択	△	△	△	-	△	△	△	△	○	△	△	△	△	△
陳情第11号	私立高校生の父母負担を軽減し、学費負担の公私格差を是正するために高浜市独自の授業料助成制度の拡充を求める陳情	「教育の機会均等」の理念にもとづき、国・県の制度と併せて学費負担の公私格差を是正するために、私立高校生に対する授業料助成制度を維持し、拡充することを求める。	反対 西三河の中でも手厚い補助額となっている。これ以上の補助金の上乗せは難しいと考える。 趣旨採択 他市に比べ充実した助成制度になっている。趣旨は理解できる。 賛成 学費負担の公私格差を是正するため、現在少額である高浜市独自の授業料助成制度を改め、さらなる拡充が必要。	不採択	●	●	●	-	●	●	△	△	○	●	●	△	●	●
陳情第12号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情	①少人数学級のさらなる拡充を含めた定数改善計画を早期に策定し、実施すること。 ②義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率を2分の1へ復元すること。 以上2点を内容とする意見書を国に提出することを求める。	賛成 全ての子どもたちが平等に行き届いた教育を受けるため少人数学級の更なる拡充を含めた定数改善は必要不可欠と考える。 賛成 全国どこに住んでいても子どもたちが均等に一定水準の教育を受けることが大切と考える。	採択	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見案第1号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	来年度の政府予算編成にあたり、定数改善計画の早期策定・実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率2分の1への復元にむけて、十分な教育予算を確保されるよう意見書を国に提出する。	意見なし	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○


杉浦康憲議員は、議長職のため表決権はありません。

詳しい内容は、市公式ホームページに「会議録」を掲載していますので、ご覧ください。

市公式ホームページ

「トップページ」→「高浜市議会」→会議録「定例会」「臨時会」「委員会」「特別委員会」

URL <https://www.city.takahama.lg.jp/site/gikai/list15.html>
 (*ご覧になりたい「会議録」を選んでください。)



市政のここが聞きたい!!

一般質問

一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく、市政全般について市の方針をたずねるものです。
 (高浜市議会会議規則 第61条 議員は、市の一般事務について、議長の許可を得て質問することができる。)

なお、掲載文は、議員本人作成(文責)の原稿です。



今原 ゆかり 議員

災害対応力の強化について

問 近年では、自治体に常駐する職員として「気象防災アドバイザー」を採用している例もある。的確な避難指示で、被害を最小化するため、活用を検討してはどうか。

答 現在、職員として採用する計画はないが、自治体職員で気象予報士・気象防災アドバイザーである市川氏を講師に招き「職員向け水害対策研修」を開催した。今後も必要に応じ、研修会等の開催を検討していく。

問 消防庁が発表した「地方防災行政の現況」でも、自治体における携帯トイレの備蓄は、必要量に達していない状況にあると言われている。

今後の災害に備えて、想定される最大避難者数などを基に、携帯トイレの備蓄の現状と今後の方針は。

答 避難所用の携帯トイレ分として、約4万回分の備蓄をしている。令和5年度より在宅避難者用に個包装の配布用携帯トイレの備蓄を開始しており、昨年は11,500回分。本年も同数の備蓄を予定

している。

問 防災士の資格取得支援として補助金を実施している自治体もあるが、市の考えは。

答 補助金の実施については、現在計画はないが、資格を取得希望の方には、あいち防災協働社会推進協議会が主催する「防災・減災カレッジ」の案内をしている。

軽度・中等度の難聴支援について

問 日本の想定難聴者数は、約1,430万人、10人に1人と言われている。「ヒアリングフレイル」について、周知する取組をしているのか。

答 市民の皆さんにお伝えする機会を設けていなかったため、今後は、健康づくり事業や介護予防事業の中で、生活習慣の見直しなど加齢性難聴の予防や「ヒアリングフレイル」についての周知を行っていく。

問 近年、軟骨伝導イヤホンが注目されている。ぜひ導入してほしいと思うが、市の考えは。

答 いきいき広場の窓口に試験的に設置し、窓口利用者の声を聞いた上で、本格的な導入を判断していきたい。



黒川 美克 議員

旧高浜市立郷土資料館、高浜市やきものの里かわら美術館・図書館について

問 台風10号で雨が降ったが郷土資料館部分で雨漏りはなかったのか、また指定管理者からどのように報告を受けたのか。

答 建物の2階部分で新たに1か所、合計3か所。資料の保管スペースのところは2か所、1か所がトイレという状況。

指定管理者からの報告では、受皿や吸水シートの設置、雨漏りが懸念される箇所には資料を置かない、予防的にシートをかけるといった対応をした旨の報告があった。

問 かわら美術館の指定管理者制度導入年度は。

答 平成20年10月導入。

問 令和元年度から令和6年7月までの企画展の入館者数と有料人数と招待人数は。

答 令和元年度「朱明德」1,666人、有料759人、無料522人。「平面→立体→カラクリ展」3,875人、有料1,649人、無料795人。「山本良比古展」4,330

人、有料2,042人、無料1,718人。「やきもの王国」1,005人、有料565人、無料392人。合計10,876人。令和2年度「過去と未来を紡ぐもの」580人、有料344人、無料210人。「手鑑帖と鬼師展」1,532人、有料772人、無料522人。「土と炎の継承」1,063人、有料490人、無料397人。「永瀬正敏写真展」2,520人、有料1,580人、無料807人。合計5,695人。令和3年度「浮世絵と日本画」2,736人、有料1,982人、無料574人。「ボン・ヴォヤージュ！」4,210人、有料2,009人、無料722人。「時の迷路と瓦の歴史」3,037人、有料1,256人、無料591人。合計9,983人。令和4年度「ダ・ヴィンチ没後500年」9,354人、有料7,069人、無料1,410人。「高原洋一版画展」1,344人、有料802人、無料317人。「ゴー・トゥ・トラベル」1,230人、有料896人、無料254人。合計11,928人。令和5年度「浮世絵師の見た薨」1,826人、有料1,201人、無料420人。「KAGAYA星空の世界展」6,532人、有料4,408人、無料834人。「浮世絵師・歌川一門の判じ物」2,520人、有料1,686人、無料484人。合計10,878人。令和6年度「ヤマザキマリの世界展」7,153人、有料5,695人、無料1,123人。



柴口 征寛 議員

環境行政について

問 衣浦衛生組合議会協議会にて出された「クリーンセンター衣浦整備構想の改定について」の4案について、どの案が望ましいか。

答 それぞれに長所や短所が確認されており、これらを踏まえ、今後碧南市と検

討を始めていくもので、現時点でどの案で進めたいという段階には至っていない。

住民に寄り添った対応を求めて

問 税金の滞納があり、市と相談して決めた支払計画での支払いが困難となった場合、丁寧に事情を聞き、計画見直しの相談に応じているか。

答 応じている。

問 病気で入院するなど収入が減り、税金が払えなくなった場合、生活保護の手立てを取ったり、勤めたりとかはしているか。

答 生活困窮の話が聴取できた場合、生活保護の話などをすることもある。

問 納税相談等の対応は適切で問題なく、男性が不満を募らせ放火事件を引き起こしたものと済ませていけば、何の解決にもならず、また同様の事件が発生するかもしれない。今回の事件発生に至ったことをどのように考えるか。

答 多くの納税者が納期限内に納付していることを踏まえ、これまで収納担当の職員は、滞納者に対しては分割納付の相談に応じ、納税を促してきた。今後も公正公平にその責務を果たしていくところである。

小中学校の環境改善について

問 体育館へのエアコン設置の必要性に対する考えと設置の計画は。

答 近年の夏季の暑さを考えると、体育館への空調設備設置については重要な課題であると認識している。一方で、現在は学校施設の老朽化が年々顕著になっている中、高浜市学校施設長寿命化計画に基づき、校舎の長寿命化工事やトイレ改修等に優先的に取り組んでおり、体育館の空調設備の設置については今後も財源など、様々な課題も含め庁内での協議を重ねながら、検討を進めていく必要があると考えている。



野々山 啓 議員

カーボンニュートラルの取組について

問 カーボンニュートラル推進支援補助制度の内容及び申請実績について。

答 目的は、市内事業者が、温室効果ガスの排気量を削減するための支援。令和6年度からスタート。

補助対象は、省エネルギー診断に係る経費は最大10万円で、令和6年8月末現在で3件実施。省エネルギー設備導入費用は最大50万円の補助。

問 スマートハウス設備設置費補助制度の内容及び申請実績について。

答 令和5年度から開始された市民向け制度で、太陽光発電やエネルギー管理システムなどの設置を対象に補助。補助額は設備によって異なり、例えば、太陽光発電と他設備を併用する場合は16万円。申請件数は令和5年度56件、令和6年度8月末時点で48件。

問 「デジタル化による行かない窓口」の紙削減の取組について。

答 住民票などをコンビニで申請・交付するこ

とで、紙での申請書が不要になり、令和元年度約1,000件、令和2年度が約2,000件、令和3年度が約3,600件、令和4年度が約6,100件、令和5年度が約9,200件、年々増加傾向の利用である。

高浜市の文化・芸術振興について

問 瓦・やきものの町としての文化芸術の振興に関する計画と、教育活動について。

答 「第三次生涯学習基本構想・基本計画（前期）」を計画しており、文化芸術推進も兼ねている。期間は令和5年度から9年度まで。文化財の保護や活用、知的好奇心を高める活動の推進、後継者育成等を含む。「かわら美術館」機能として、年3回企画展を開催。鬼師が中心となって、「三州瓦鬼師応援隊」が、瓦製ランプシェード「鬼あかり」づくりの指導を行っている。

問 瓦文化の維持・継承と発展について。

答 歴史ある青木町の恩任寺本堂の屋根改修工事に合わせ、市では専門家とともに調査を実施。江戸時代の貴重な資料が発見され、「調査成果報告会」や、将来的には『高浜市のあゆみ資料』として冊子化を予定し、取りまとめを進めていく。



鈴木 勝彦 議員

令和7年度予算編成に向けて

問 令和7年度予算編成の編成方針について。

答 歳入、歳出のバランスを見直し適正な歳出規模とするため、部局毎の枠配分による予算編成とし、ゼロベースでの見直しを含めた

歳出改革を進め、歳入の確保にも努める。

問 基本的な考え方について。

答 (1)「枠配分方式による予算編成」では、各事業の必要性、効果を精査し、事業目的達成に必要な経費のみを計上する。

(2)「ビルド・アンド・スクラップの徹底」では、最初に取り組むべき事、やるべき事を決め、係る事業費については、優先順位を見直し、優先度の低い事業を縮小・廃止して捻出する。特に新規事業を開始する場合はこれを徹底する。

(3)「重点取組事業への財源配分」では、将来都市像の実現に貢献する事業に優先して予算配分する。

問 「こどもまんなか社会」を実現するための取組の考え方は。

答 令和7年度予算編成における、こどもまんなか社会の実現に向けた取組の一つを申し上げますと、児童手当の財源において国と地方の負担割合が変更されたことで、本市の財政負担が軽減され、入院医療費の無料化について高校生年代まで拡充するために必要とされる財源の一つのめどが立ってきたので、現在15歳までとしている子ども医療費助成について、「入院における子ども医療費の無料化」を18歳まで拡充させることを考えている。

問 大規模災害の対応について。

答 高浜市防災メールと公式LINEで市民の皆様へ配信し、市として危機管理マニュアルの再確認を実施した。

問 不審者等への対応について。

答 不審者が現れた時の対応マニュアルを作成し、来庁者と職員を守るため、組織全体で対応する体制を強化することを明確にした。職員は、警察に通報、事件を記録、他部署への連絡、さすまた、消火器を用いるなど、各部署において系統立てて、組織的に行うものとした。



倉田 利奈 議員

災害への備えについて

問 8月8日南海トラフ地震臨時情報が発表された際、自治体によっては、海水浴場の閉鎖や避難所の開設をすることがあった。高浜市では、耐震の保障のない施設があるが対応は。

答 特別な対応はとっていない。

問 避難所収容可能人数が、高浜市は3,532人であるが、県は最大想定モデルとして5,300棟が全焼、全壊、消失と予測。どう考えるか。

答 避難者11,000人に対して、約3,700人なので、充足していないが、本市だけの問題ではない。

問 近隣自治体では夜中に地震がおきた際、避難所近くに住む避難所担当職員が鍵を持っていることから、直接避難所へ行き、避難所開設をおこなう。高浜市では、誰がどのように鍵を開けて避難所を開設するのか。また、避難所開設までの時間はどれくらいを想定しているか。

答 震災が発生したら、まず職員は市役所へ登

庁する。登庁時間は、早い方であれば30分以内であると思う。登庁してから、避難所を運営する職員が施設の鍵を持って開設する流れになるが、震災状況によっては、避難所の安全確認ができないので、何時間で開けられるか明言することは難しい。

問 避難所運営する施設班の職員は、市内、市外それぞれ何人の配置か。

答 市内在住者が33名、市外在住者が28名。

ごみ焼却施設の今後の計画について

問 中電を交えて、碧南市、高浜市、衛生組合で協議を進めているが、最終的に中電にごみ処理の委託をするとなれば、官製談合にあたるかどうか。

答 民設民営というものはどういうものかということ協定している段階なので、官製談合ということにはあたらない。

問 高浜市がなぜ協議にはいっているのか。

答 私どもは、中電と協定をむすんでいないので、おるだけです。質問の官製談合が、なんでもうちに関係があるのか、そもそもこんなところで質問するあれじゃない。



福岡 里香 議員

再生可能エネルギー・ 太陽光発電について

問 太陽光発電設備の処分費用を見込む必要があると考えるが市の考えは。

答 現時点で処分費用を見込むことは難しいが、ライフサイクルコストの観点から、今後留意する。

問 日本企業がペロブスカイト太陽電池の量産を開始。軽く、薄く、様々な形状に対応、低コストで発電可能。CO₂排出量を抑制。平成21年、余剰電力買取制度施行後、パネル設置が簡単な金属屋根の需要が加速し粘土瓦の利用は落ち込んだ。ペロブスカイト太陽電池は、粘土瓦の家屋でも導入可能で、瓦のまち高浜の景観にも影響がないと考える。太陽光発電システムの導入計画を見直すべきでは。

答 調査は実施済。量産化が始まったら効果的な活用を検討したいと考える。

放火事件について

問 金属探知機の設置や持ち物検査の導入、警

備員の動員などは考えているか。

答 防犯カメラなど他の設備で強化を行う予定。

問 過去に小さなトラブルや問題行動を起こした人物に対して、再発防止や事前対応を行うためのフォローアップはどのようにしているか。

答 相手が窓口に来た際、折衝時に確認できるよう、必ずその当時の折衝記録を残す。注意点などの情報共有を図り、トラブルの再発防止に努める。

ごみの立ち当番制度について

問 立ち当番が負担で町内会を退会したという声あり。立ち当番を廃止した知立市はデメリットがないとのこと。他市の状況把握はしているか。

答 本年8月末時点で立ち番を実施している自治体は、愛知県内54自治体中33の自治体。

問 立ち当番を廃止し、ごみ分別事業支援の報奨金を市民が交流できるイベント等に活用しては。

答 すぐに立ち番制を廃止するのは難しい。今後の超高齢化社会を見据え、分別しやすい環境を整え、ごみの減量化及びリサイクルを進めていく中で立ち番制の在り方についても引き続き検討を進めていきたい。資源売却収益金については、資源分別に係る経費に充当したい。



長谷川 広昌 議員

リスクマネジメント について

問 市民の安全安心の維持向上、市民生活の未来を守るため、「財務、自然災害、コンプライアンス」など様々なリスクマネジメントが大変重要と考えるが、市はどのように分析・評価し、

優先順位をつけ対応しているのか。

答 ①財務に関連するリスクとしては、その発生する頻度の高さやリスクが顕在化した場合の本市に及ぼす影響の深刻さなどを考慮。特に大きな事案としては「官製談合」が挙げられるため、その発生を未然に防止することに努めている。②自然災害についての最大のリスクは、南海トラフ巨大地震と考えており、「自助」「共助」「公助」を基本とし、まちづくり協議会、町内会とより一層の連携強化を図り、防災減災対策を推進していく。③コンプライアンスのリスクについては、法令違反、モラル違反、契約違反、不法行為などあるが、本市において年度

当初、職員による横領事案が発生した。このような背信的不法行為を防ぐためモラルの向上と人的チェックをダブルにもトリプルにも行うことが肝要であるため、現金取扱事務の見直しを行ったところである。

問 リスクマネジメントの活動として、努力義務ではあるが、内部統制は地方自治法で規定されている。何か取り組んできたことはあるのか。

答 内部統制の要請であるチェック体制の整備について、令和3年度から「事務の適正な執行」や「内部チェック機能の強化」に取り組んでいる。今後はさらに優先順位が高い事務を選定し、事務手順及び洗い出しを行い、改善方法を検討していく。

問 環境変化が激しい中、「今までのやり方」が通用しない状況であり、リスクになり得るものが多様化し、リスクマネジメントは必要不可欠である。継続的にリスクマネジメントを構築、運用していただきたいと考えるが。

答 内部統制の要請する体制整備を行い、高リスクと考えられる事務について、適切な手法を確立し、適切なやり方を反復継続できるよう目指すとともに職員の教育が重要と考えている。



荒川 義孝 議員

令和7年度予算編成に向けて
～I.手を取り合ってみんなで
まちをつくろう～

問 全ての情報提供手段において、デジタルを活用した情報提供の割合は。

答 デジタルとアナログで半々くらいと思われる。

問 デジタルデバイド対策について、本市DX推進計

画ではどのように捉えていくか。

答 利用者目線を大事にして、使いやすいサービスを目指すことを掲げていく予定である。

問 3月議会の一般質問で行った2025年問題について、本市のDX推進及びデジタルデバイド対策への影響は。

答 現時点では、目立った影響はない。デジタル人材の育成は欠かせないものと考えている。

問 未来を見据え、前に進めるために、デジタルサービスの還元やオンライン行政手続きなど、高齢者等にどのように利活用してもらうか。

答 苦手な方がデジタル化にふれる機会を通じて、利便性・優位性を知ってもらうことが第1歩。

問 包括連携協定を結ぶ事業者の協力のもと、高齢者へスマホの無料貸し出しは可能か。

答 事業者と定期的に意見交換をする中で、事例等をもとに、実施の検討をお願いする。

問 スマホネイティブと呼ばれる20代は自分の興味や意見に合致する情報のみで囲まれる「フィルターバブル」による「エコーチェンバー現象」から社会的な断絶や不和を生む原因となるが、住民協働、まちづくりの観点からどのように考えるか。

答 小規模団体や考え方の異なる団体が増える中、個々の力を結集させて、より大きな力を生み出すプラットフォーム（協議・助け合いの場）であるまちづくり協議会が、今後も、重要なものとなってくると考えている。

問 私が過去の一般質問で提案した「電子回覧板」の実証実験を行っているが、このモデルケースから、住民協働を推進するにあたっての展望は。また、電子回覧板等DXにおいて、地域の若い世代の力を借り、町内会会員拡大に努めてみては。

答 デジタルの力で連携が実現可能となることから、関係者の負担軽減、若い世代が活躍できる活動の創出と町内会会員拡大を両立していけたらと考えている。



神谷 直子 議員

令和7年度予算編成に向けて
～II.みんなて学び・高め合い
高浜の未来を育もう～

問 「安心して子どもを産み育てられる環境整備」について。

答 事業として「地域共生社会講座」「子育て子育て支援講座」を実施。不妊の経済的支援を一般不妊治療費

助成に加え、生殖補助医療費への助成を検討する。

問 「子どもも子育てに関わる人も孤立することのない環境を整えよ」の進捗と課題は。

答 LINEアプリを利用し、子育て世代を対象に、子育てイベント情報、施設情報、相談の予約を発信。令和5年度から幼稚園も保育園と同じ保育システムを導入し、保護者と園との双方向の情報伝達手段の充実を図っている。

問 「外国籍の方に対しても、子育て不安を軽減できるように、多言語対策をせよ」について。

答 外国籍比率は8月1日現在で4,553人、人口の9.2%。翻訳アプリの利用や令和6年度から通訳者が園へ直接出向くなどの対応をしている。

問 私が提案し、令和2年から導入されている電子母子手帳アプリ「びよポケット」の利用者数は。

答 現在1,344人、母子健康手帳交付者の約半数が、アプリで予約受付。育児相談事業「ちびっこ相談」はほとんどの方がアプリで予約。

問 今年4月からいきいき広場内に設置された「こども家庭センター」について。

答 こどもと妊産婦、子育て世帯の総合窓口として、こどもの悩み事や発育発達、しつけなどの子育てに関する悩み事などの相談をワンストップで受け、義務教育後でも利用可。統括支援員を兼ねたセンター長、保健師、助産師、臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士、家庭児童相談員、母子父子自立支援員、こども子育て相談員、子ども健全育成支援員がチームで相談支援をしている。

問 『『かわら美術館・図書館』を核に、市民が身近に学べる取り組みを進めよ』の進捗と課題は。

答 図書館機能は、移転オープンから1年で（令和5年8月～令和6年7月）、入館者数は令和4年度と比べて約2倍、新規登録者数は35%増。来年はかわら美術館が開館して30周年を迎えるので、盛り上げていきたい。



橋本 友樹 議員

令和7年度予算編成に向けて
～Ⅲ. 行きたい 住みたい
住み続けたい 魅力が
つながるまちをつくろう～

問 住宅の耐震化が重要であると考えているが、旧耐震基準の木造住宅に対し実施されている無料の耐震診断のこれまでの実績、診断結果は。

答 無料耐震診断の実績は、令和6年8月末までに約1,130件。診断の結果は、震度6強から震度7クラスの大規模地震に対し、倒壊しない、または一応倒壊しないとされたものが約120件。

問 旧耐震基準の木造住宅に対し、耐震改修を実施するための各種補助制度があるが、これまでの利用実績は。

答 平成15年度より、木造住宅の耐震改修に対する補助を開始し、これまで補助金を活用した耐震改修は約110件。平成21年度より、耐震シェルターや防災ベッドの設置への補助を開始し、これまでに補助を活用した防災シェルターの設置は4件。

問 三州瓦屋根工事補助制度が今年度より見直しされたが、どのように変わったのか、利用実績は。

答 従来は、市内の事業者で製造された瓦のみ対象であったが、市内の事業所で製造され販売された瓦、市内の事業所で製造され市外の事業所で販売された瓦、愛知県陶器瓦工業組合、三州瓦工業協同組合加盟の事業所で製造され、市内の事業所で販売された瓦を対象とした。補助率をこれまでの4分の1以内から3分の1以内へ引き上げた。

問 カーボンニュートラルに向け、循環型社会を目指す上でも、さらなるごみの再資源化が必要だが、どのような取り組みをされるのか。

答 現在、製品プラスチックは不燃ごみとして収集。プラスチック資源循環法に基づきリサイクルの検討が必要。今後回収事業者と協議していく。



北川 広人 議員

令和7年度予算編成に向けて
～Ⅳ. 心もからだも元気
毎日を笑顔で暮らそう～

問 現在、多くの医療・介護関係者が利用されている在宅医療・介護連携システムである「えんjoy ネット高浜」のさらなる活用は。

答 医療・介護の連携のほかに、児童、障がいの分野で利用できるよう関係機関に働きかけ、新たに16団体に登録をいただいた。今後は小学校や園での利用登録をお願いし、様々な課題を抱える子どもや保護者等へ、いち早くアプローチできる連携体制づくりを進めていく。

問 重層的な支援体制整備を推進するために「共生推進グループ」を設置し、進めている異地区のモデル事業はどのようなものか。

答 「NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ」と連携し、「まぜこぜの居場所づくり」を展開していく。世代や属性を超えて住民同士が交流できる多様な場や居場所を整備していく。

問 市民の健康意識向上が大変重要であると考

えるが、それへの取組は。

答 広報紙で検診案内は、どの年齢がどのような検診を受診できるのか、自己負担額がいくらになるのかを一目で分かるように工夫している。また、厚生労働省の支援で、スマホで簡単！「脳の健康度チェック」をスタートした。

問 防災・減災対策の推進は大変重要であるが、マイ・タイムライン普及への取組は。

答 まちづくり協議会・町内会・小学校総合学習等への出前講座を行って、延べ615人と多くの市民にご参加いただいている。

問 避難所レイアウトを活用した自主防災組織の強化と地域防災力の向上への取組は。

答 避難所レイアウトは、総合防災訓練説明会で各まちづくり協議会に配布し、説明をした。各学校の防災倉庫にA1サイズのを配備した。VR(仮想現実)による地震・津波体験を行い、疑似体験を通して防災意識の向上を図っていく。

問 防犯カメラ等の活用は怎么样了。

答 防犯カメラは現在44基を設置している。さらに2基の増設を予定し、犯罪防止活動、交通安全対策への取組を進めていく。

議場に行かなくても「本会議」が見られます

インターネット回線に接続されているパソコンやスマートフォンから、ライブ配信や録画配信をご覧いただけます。

- ①ライブ配信で、本会議の視聴ができます。 ※告示日と各委員会等の配信はありません。
- ②本会議開始時刻は、いずれも午前10時開始予定です。
- ③録画配信は、ライブ配信後、概ね2週間後を予定しています。

市公式ホームページからも
リンクしています。

「トップページ」→「高浜市議会」→「議会映像配信」

(※ご覧になりたい「定例会」・「臨時会」を選んでください。)

■パソコン向け・スマートフォン向け映像配信アドレス

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/Webview/rd/council.html>



！
ご注意ください

※視聴は無料ですが、通信料などは視聴の皆様のご負担となります。
※動画配信のため、契約内容によっては、通信料が高額になる場合があります。視聴環境に係る契約内容をよく確認・納得の上で視聴願います。

12月定例会の日程（予定）

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回開催されます。会議の開始時間は、いずれも午前10時の予定です。一般質問では、市政全般にわたって論議が展開されます。ここに記載のある委員会も傍聴できます。

月日	曜	会議日程	摘要
11月21日	木	告示日	議会運営委員会
11月28日	木	本会議 第1日 ライブ配信	開会、議案上程、説明
12月 3日	火	本会議 第2日 ライブ配信	一般質問
12月 4日	水	本会議 第3日 ライブ配信	一般質問
12月 6日	金	本会議 第4日 ライブ配信	総括質疑、議案委員会付託
12月10日	火	総務建設委員会	付託案件審査
12月11日	水	福祉文教委員会	付託案件審査
12月18日	水	本会議 第5日 ライブ配信	委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決、閉会

※今後の協議により、変更となる場合があります。

編集 後記

師走を迎え、何かと慌ただしい時期になりました。様々なイベントなどで人の移動も増え、1年で最も交通事故件数が増えるのは、12月と言われています。

事故に遭わない為にも、時間と心に余裕を持ち、気を引き締めて行動したいですね。

高浜市では10月から、乗り合い送迎バス「チョイソコたかはま」が運行開始となりました。ご利用には、事前の会員登録と乗車の申し込みが必要です。

移動手段にお困りの際には、是非ともご利用ください。

広報・広聴委員会 委員長



決算特別委員会現地視察【高取小学校給食室】